



2026 年 8 月 17 日

三島信用金庫

地域中小企業の人材課題解決に向けたインパクトファイナンスによる実証プロジェクトを開始

～三島信用金庫・スエヒロ工業・静岡大学・インパクトサークルが連携し、人材投資モデルの共創を目指す～

三島信用金庫（理事長：高嶋正芳）は、株式会社スエヒロ工業（代表取締役：櫻井弘紀）、国立大学法人静岡大学（学長：日詰一幸）、インパクトサークル株式会社（代表取締役：高橋智志）と連携し、地域中小企業における人材採用・育成・定着をテーマとしたインパクトについて、人材への投資を可視化し、採用・育成・定着につなげるプロジェクトを開始します。

1. 本件ファイナンス内容と事業者概要

契 約 日：令和 8 年 7 月 31 日

法 人 名：株式会社スエヒロ工業 代表取締役 櫻井 弘紀

所 在 地：静岡県沼津市足高 287-29

業 種：建設業

融資金額：1 億円 、 資金使途：人的資本経営の推進に係る運転資金

特 徴：人材・D&I をテーマとしたインパクト評価を実施。ロジックモデル・KPI を株式会社スエヒロ工業と国立大学法人静岡大学と三島信用金庫の 3 者で策定。KPI を活用した対話・振り返り・改善を支援。取り組みを地域へ展開し、地域課題を解決する。

レポートについては、[こちら](#)からダウンロードしてください。

同社は「外装の専門工事会社」を標榜し、以下 4 事業を展開しています。

①大規模修繕工事（主力事業）、②総合防水工事、③新築・リフォーム工事、④ヘルスケア・ウェルネス事業。 社是である「絆－人と人との断つことのできないつながり」のもと、人との絆を大切にしたい経営を実践しており、人材を企業の成長を支える重要な経営資源と位置づけています。

2. 本件の取り組みについて

人材不足は、地域中小企業に共通する経営課題です。本プロジェクトでは、株式会社スエヒロ工業をモデル企業とし、同社が取り組む人材に関する施策を可視化するとともに、4 者で企業が目指す姿を共有し、目標を設定します。

その後、取組状況や成果を継続的に確認しながら改善を重ね、人材への投資が企業の成長や地域社会へもたらす価値を検証します。

本プロジェクトは、企業を評価することを目的とするものではありません。企業・大学・専門機関・金融機関が対話を重ねながら、地域に適した人材投資モデルをともに考え、実証する取り組みです。人材への投資が企業価値や地域社会に与える効果を検証し、その成果を地域へと展開していきます。

3. 本件の背景

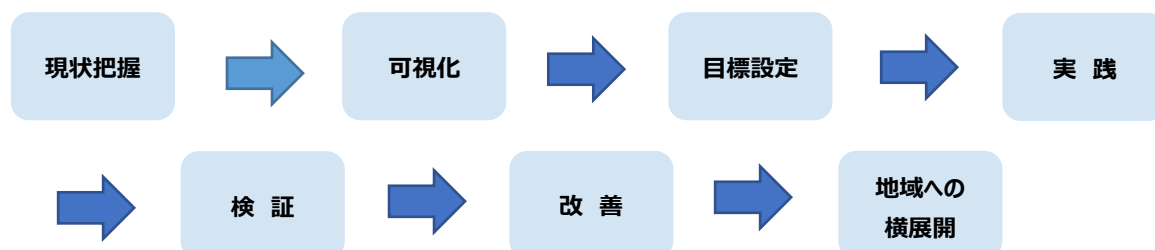
地域企業にとって「人材」はコストではなく、企業の未来を支える重要な経営資源です。一方で、人材への



取組みは財務情報のように見えにくく、その価値を社内外へ伝えることは容易ではありません。

本プロジェクトにおいて、株式会社スエヒロ工業は、人材への投資を「見える化」し、その価値を客観的に整理することで、企業自身が強みを再認識するとともに、採用・育成・定着につながる仕組みづくりに挑戦します。

4. 本プロジェクトの全体像



5. 目指す姿

STEP 1：スエヒロ工業が未経験者や多様な人材が活躍できる仕組みを整備し、人材の採用・育成・定着を実現する。

STEP 2：スエヒロ工業の取り組みが地域のモデルケースとなり、地域企業への横展開が進むことで、地域全体で持続的な人材確保と技能継承が実現している状態を目指します。

(具体的な活動例)

- ・人事評価制度の本格導入・運用（社長判断による査定から、目標達成率による査定への移行）
- ・静岡大学情報学部（石川研究室）と連携した従業員満足度の第三者評価・データに基づく可視化
- ・多様な人材（女性・シニア・外国人・LGBTQ+等）が活躍できる環境整備の推進
- ・地域企業向けの講演・勉強会の実施によるノウハウの横展開

検証結果をもとに継続的な改善を行い、地域企業へ展開可能なモデルとして確立を目指します。

6. 各機関の役割

スエヒロ工業	三島信用金庫	静岡大学	インパクトサークル
人材施策を実践する	全体統括。企業に伴走し、地域へつなぐ	効果を検証し、知見を蓄積する	成果の可視化を支援する

7. 今後の展開

本プロジェクトは単発の取組みではなく、実証で得られた知見やデータを分析しながら改善を重ね、地域に適した人材投資モデルとして確立を目指します。その成果を三島信用金庫が運営する「こちら三島の人事部」と連携して地域企業へ横展開し、地域全体の人材課題解決につなげます。

【本件に関するお問い合わせ】

元気創造部 田村・遠藤

T E L : 055-973-5730

以上